



3月7日 経済観光局

※質問項目のみ掲載します。

- 六甲山・摩耶山の活性化について
(1)六甲山ビジネス拠点の推進について
(2)特色ある摩耶山の活性化について
(3)マウンテンバイクを活用した新たなレジャーについて
企業版アーバンイノベーション神戸について
(1)市内中堅・大企業の課題の掘り起こしについて
(2)市外企業の参加について
須磨海釣り公園の活用について



3月9日 文化スポーツ局

※質問項目と一部質問内容のみ掲載します。

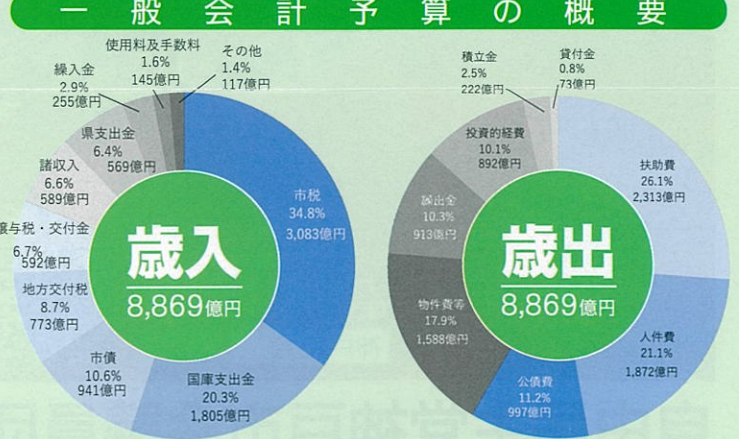
- 自然の家のリニューアルについて
王子公園の再整備について
ポートアイランドスポーツセンターの再整備について
質問:吉田健吾
HAT神戸にある「人と防災未来センター」北側の交通広場は暫定利用でタイムパーキングとして使用されている。交通広場機能を維持しつつ、その上に別の機能を持つ施設を建設することが可能であれば、使い道の自由度が出てくるのではないかと。アイススケートやスケートボード、BMX、クライミングなど、新しくオリンピック種目に採用されたスポーツなどの施設に整備し、HAPPY ACTIVE TOWNを代表する、よりアクティブな使い道を検討してはどうか。
こども本の森 神戸について

令和4年度神戸市の予算 海と山が育む グローバル貢献都市の実現

予算総額: 1兆8,804億円 (前年比:+273億円)

- 一般会計: 8,869億円(前年比:+165億円)
特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)

一般会計の支出を 58 市民一人あたりにすると 58万円になります



神戸市 KOBE 新型コロナワクチン接種 3月27日まで「予約なし」接種

神戸市新型コロナワクチン接種のお知らせ 新型コロナワクチン接種について 3回目接種予約のご案内など

神戸市政報告 灘区版

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。 編集・発行: 自由民主党神戸市議員団

自由民主党神戸市議員団 神戸市議員 吉田健吾 灘区

令和4年度神戸市予算 「くらしの質」を重視した施策を強化 SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現

年初より猛威をふるったオミクロン株による新型コロナウイルス第6波が、ようやく減少傾向といえる段階となりました。1月27日から兵庫県内全域で続く「まん延防止等重点措置」の解消もまもなくといった状況であると思います。...

- 7つの柱 1.コロナとのたたかいに打ち克つ 2.健康・安全を守る 3.温もりのある地域社会を創る 4.のびやかなくらしと環境を創る 5.力強い神戸経済を創る 6.未来に輝く神戸の街を創る 7.DXの活用による市民参加を進める

3月9日までに議会で示された見解をまとめました。しっかり議論してまいります。 王子公園再整備に関する神戸市の見解

Table with 2 columns: 自由民主党神戸市議員団からの質問 and 神戸市の見解. Contains 10 rows of Q&A regarding Prince Park renovation.

灘区制90周年 灘だんじり巡行 秋への延期決定!!



議事録抜粋
令和4年
第1回定例市会
代表質疑
自由民主党神戸市会議員団
吉田健吾

令和4年2月24日
神戸市会本会議場

1. 令和4年度予算と今後の市政運営について

■質問:吉田健吾
コロナ後の神戸の将来を見据え、人口減少や少子・高齢社会など、社会経済状況の変化に起因する課題に対応しながら、前に進んでいかなければなりません。将来にわたって持続可能な都市経営をおこなっていくために、今後の市政運営における基本的な考え方について伺います。

■答弁:久元市長
まず、一番大事なことは、目の前の危機、オミクロン株などの感染が拡大している中で、いかに抑え、感染された方々に対して適切な医療を提供し、必要なケアをおこなっていくということ。そして、コロナ後の経済社会がどのような姿になるのかということの思い描きながら、市民福祉の向上と神戸経済の発展を図っていくということが、大事な課題であると考えています。

コロナ後の社会は、命と健康の価値が高まるのではないかと思います。神戸が取り組んできた神戸医療産業都市の価値も高まり、その役割が重要になるということ、これを踏まえる必要があると思います。また、狭いエリアに人々が集まって暮らすという価値観が見直され、ゆったりとした環境の中で働き、暮らすことが尊ばれるようになる可能性があるのではないかと。神戸には、豊かな山、自然環境がある。そのポテンシャルを發揮させていくという視点が重要だと思えます。したがって、令和4年度予算編成におきましては、コロナ対策、神戸の未来を担う人材への投資、神戸経済の活性化、神戸の豊かな自然環境の保全・活用などの分野におきまして、取り組みを加速させることとしました。

2. 王子公園の再整備について

■質問:吉田健吾
王子公園再整備は、灘区内での久々の大型プロジェクトとして期待しています。ただ、再整備のコンセプトやゾーニングなど、市の考え方が十分伝え切れておらず、「再整備基本方針(素案)に対するパブリックコメント」では多数の意見が寄せられました。その多くはここに至る議論が十分ではなかったことに起因していると感じています。説明や議論の不足を強く指摘をさせていただきたい。その上で改めて、今回の再整備がどのような目的で実施されるのか、市長のご見解と本事業への想いをお伺いします。

■答弁:久元市長
改めて今回の再整備の目的につきまして、丁寧に説明する必要があると考えています。これまで名谷、西神中央、垂水の市西部を皮切りに、駅周辺の再整備を進めてきました。市東部に位置する王子公園周辺は、文化、教育、スポーツ施設が集積する文教エリアとして発展し、**全市的にも極めて重要な地域**ですが、**公園内の各施設の老朽化が進んでおり、そのポテンシャルが十分に活かし切れていない**と考え、優先順位を高くし、投資をおこなうべく再整備に取り組むこととしました。まず王子公園のシンボルである**王子動物園のリニューアルに取り組み、地域住民にとってよりよい再整備とする**とともに、利便性の高い**文教エリアの特性を最大限活かす観点から、大学を誘致**することとしました。

■質問:吉田健吾
何大学が来るか分からない中で、本市にとって、灘区にとって大切なあの場所を、どうぞ使ってくださいと単純には言える問題ではないと思っています。**どのような大学が来て、どのようなことがなされて、どのような効果が、市民、区民、地域にあるのか。**その点について大学誘致の趣旨を踏まえて、お伺いします。

■答弁:久元市長
神戸で若い世代が働き、暮らし、学ぶようなまちにしていく上で、**大学誘致は、非常に有力な政策手段**ではないかと考えてきました。まず、若年人口をさらに流入、定着させていこうという上で有力な施策であるということです。市内への就業人口の増加にもつながっていくはずで、もうひとつは、この王子公園のエリアは、大変利便性の高い文教エリアとしてのポテンシャルを備えているということです。イノベーション機能の強化、国際性、多様性の創出という意味での優秀な人材の確保、育成、輩出をする場として、ふさわしいのではないかと。それから、大学の誘致は、地域商業などへの高い経済効果にぎわいを創出する効果を持ち、地域活動への貢献という面も期待できます。神戸2025ビジョンで目指す、海と山が育むグローバル貢献都市の観点にふさわしい、**地域に開かれた競争力の高い大学を誘致**していきたい。

■質問:吉田健吾
遊園地は廃止するという前提になっていますが、工夫次第では残すこともできると思います。この地は、古くから**原田の森**と言われています。**全体を森と捉え、ゾーニングをぐるっと入れ替えると、王子公園駅を降り立つと、エントランスゾーンがあり、森の入り口があり、摩耶山が背景にそびえ立っていて、左手には動物たちの森があり、森の遊園地があり、にぎやかな子どもたちがいる。右側にはスポーツの森があって、体育館やスタジアムがある。そして、それを進んでいくと、静寂の中に学術の森がある。**こういった構図で考え直すことも、まだ私はできるんじゃないかと思えます。**ゾーニングの再考**について伺います。

■質問:吉田健吾
王子公園再整備は、灘区内での久々の大型プロジェクトとして期待しています。ただ、再整備のコンセプトやゾーニングなど、市の考え方が十分伝え切れておらず、「再整備基本方針(素案)に対するパブリックコメント」では多数の意見が寄せられました。その多くはここに至る議論が十分ではなかったことに起因していると感じています。説明や議論の不足を強く指摘をさせていただきたい。その上で改めて、今回の再整備がどのような目的で実施されるのか、市長のご見解と本事業への想いをお伺いします。

■質問:吉田健吾
王子公園再整備は、灘区内での久々の大型プロジェクトとして期待しています。ただ、再整備のコンセプトやゾーニングなど、市の考え方が十分伝え切れておらず、「再整備基本方針(素案)に対するパブリックコメント」では多数の意見が寄せられました。その多くはここに至る議論が十分ではなかったことに起因していると感じています。説明や議論の不足を強く指摘をさせていただきたい。その上で改めて、今回の再整備がどのような目的で実施されるのか、市長のご見解と本事業への想いをお伺いします。



■答弁:今西副市長
王子公園再整備の方向性や土地利用、ゾーニング、さらには配置される施設の代替機能などについて、一定の見直しを図っていく必要があると考えています。**大学には開放的な空間を求めていきたい**と考えており、駅前に位置するエントランスゾーンと一体的な空間とすることで、利便性の高い文教エリアのポテンシャルを、さらに高めることができるのではないかと考えています。**スポーツ施設は体育館や弓道場が位置する北側に集積することで、スポーツ拠点として強化できると考えたが、今後どのような工夫ができるか、駐車場の位置も含め、ゾーニングを再検討していきたい。**遊園地につきましては、市民意見募集でも、「小さな子どもが遊べる遊園地は少ないのでなくさないでほしい」といったご意見も頂いておりますことから、公園内に子どもたちが遊べる場所は必要と考えています。**地域や利用者の皆様と対話しながら、考えてまいります。**

■要望:吉田健吾
そこに住む人々、そこで商売をする人々のご意見を丁寧に聞いて、そして取り入れていただいて、説明をしっかりと尽くす。見直すところは見直す。こういった姿勢を持って、取り組んでいただきたい。

■質問:吉田健吾
王子公園再整備に関する情報→

3. 摩耶山の活性化について

■質問:吉田健吾
六甲山グランドデザインにおいて、六甲山はアート空間やクリエイティブなオフィス空間、レジャー、体験型施設など、多くの人々が集い、にぎわう場所とされており、令和4年度予算にある歩道整備や、都心と山上の2拠点ワークスタイルの普及促進など、大いに期待しています。

一方で、**摩耶山は歴史や文化、自然環境を最大限に活用し、地元の裏山として親しまれています。**教育に資する施設が多くあり、令和4年度予算では、**自然の家のリニューアル活性化に向けた再整備方針の策定費用が計上**されています。社会教育施設であることから、収益性のみを求めめるのではなく、**市内学校園の自然体験活動の場**としての利用をさらに推進するべきであると考えます。また、**一般も含めた子どもたちや青少年がより集まる、学びの場**となるよう工夫が必要です。再整備方針と併せてご見解をお伺いします。

■答弁:小原副市長
自然の家の活性化に向けて、サウンディング調査を行ったところ、立地上の優位性はある一方で、施設の老朽化や野外活動体験の充実が必要との点の指摘がありました。学校利用での子どもの自然体験の場としての機能を向上させるとともに、幅広く一般の子どもたちの学びの場となるように、再整備方針をまとめていきたい。また、事業者が主体的にプログラムの開発やアクティビティの充実が図れるようにしながら、引き続き**子どもたちに自然体験を提供できる魅力的な施設運営を目指したい。**

4. 児童館のさらなる活用の可能性について

■質問:吉田健吾
子ども食堂、学習支援、ユースプラザ、ユースステーションなど、現在実施されている**様々な居場所づくり事業は全ての校区で提供されることが理想で、児童館の活用の幅を広**

げることが有効なのではないかと考えます。**やりたいと思う児童館が手を挙げれば、それに対して積極的に支援をしてはどうか。児童館の持つポテンシャルを引き出すことで、子どもの居場所づくりの充実を図ることができると考えますが、ご見解をお伺いします。**

■答弁:小原副市長
現在、**神戸市において117館の児童館を設置**しています。子どもの居場所の実施にあたっては、実施場所の確保が課題の1つとなっていますので、児童館を居場所づくりの場として活用している事例もあります。また、一部の指定管理者の中には、中高生を対象として取り組みを広げようという動きもあります。今後は学童保育の状況や地域のニーズを注視しつつ、**幅広い年齢層の児童を対象とした事業を柔軟に行えるよう、独自の取り組みに対する支援について、検討してまいります。**

5. 令和の時代における学校業務と活動について

■質問:吉田健吾
業務や活動の本来の目的の見直しや、役職や職種に応じた業務の標準化など、令和の時代における学校の業務と活動に関する方針が示され、高く評価しています。今後さらに検討や議論を重ねていくとのことですが、思い切った取り組みを期待しておりますので、教育委員会の意気込みとご見解をお伺いします。

■答弁:長田教育長
今回の取り組みは、これまで長年にわたりまして、当然のものとして取り組んできた業務や活動が、そもそも本当に必要なものなのかどうか。また、必要以上に手間や負担をかけていないかどうかといった観点から、根本から見つめ直していこうとするものです。第一弾は、あくまでも今後に向けたスタートとなるものと考えており、第二弾以降の検討にあたりましては、学校や教員がどこまでの業務を担うべきかといったようなことなどにつきまして、令和4年度中に方針をまとめたいと考えています。今回の取り組みが実を結ぶものとなるためには、**教職員1人1人が主体的に、かつ積極的に業務や仕事の仕方や進め方を見つめ直し、言うならば1つの運動というふうなものにしていくことが重要**ではないかと考えています。



自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員 灘区
吉田健吾

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

うえなか 雅子

<http://uenakamasako.jp>

自民党 Lib Dems

まさこ

ごあいさつ

春がやってきました！

学校や保育所、高齢者施設や事業所等々で猛威をふるったオミクロン株による感染者数は高止まりではありますが、徐々に減ってきており、兵庫県ではまん延防止等重点措置もやっと解除されたところでもあります。しかし、油断することなく、従来通りの感染対策を徹底いたしましょう！

3月1日には臨時本会議を開き、議員提出された「ロシアに対する抗議決議案」を全会一致で可決しました。

さらに、3月14日には、自由民主党神戸市会議員団を代表して、65分間の総括質疑を行い、「神戸市は避難民の受け入れにも積極的に対応していただきたい！」と要望いたしました。

平和であることのありがたさを身に染みて感じつつ、ウクライナにも一日も早く春が来ることを願います。

神戸市会議員 うえなか 雅子



総括質疑にて(令和4年3月14日)

市民の命と健康を守り、コロナ後の新たな時代をリードする施策を展開

神戸市 令和4年度 予算の概要

1 コロナとのたたかいに打ち克つ

- 新型コロナウイルスワクチンの追加接種 (85億7,824万円)
- コロナ患者受入れ医療機関への支援 (9億8,231万円)
- 生活困窮者への支援 (2億9,562万円)
- 市内商業者支援の充実 (4億937万円)



2 健康・安全を守る

- 子宮頸がんワクチンの接種機会充実 (11億8,850万円)
- 介護人材確保プロジェクト「コウベdeカイゴ」の推進 (10億7,165万円)
- 高潮・津波・内水氾濫対策 (43億519万円)
- 学校施設の環境整備(異常高温対策) (4億2,000万円)

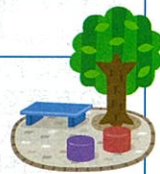
3 温もりのある地域社会を創る

- 高校生等の通学定期券補助 (8,000万円)
- 子育て世帯の保護者負担軽減 (10億4,924万円)
- 保育人材確保・定着への支援 (33億1,309万円)
- 中学校給食の全員喫食制への移行に向けた取組みの推進 (11億2,130万円)
- こども・若者ケアラーへの支援 (4,253万円)
- こどもの居場所づくりの全市展開 (1億1,690万円)



4 のびやかなくらしと環境を創る

- 都市公園の再整備 (14億7,700万円)
- 子育て世帯等のこくべぐらし応援 (5億1,560万円)
- こくべ女性活躍プロジェクトの推進 (3,300万円)



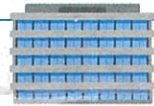
5 力強い神戸経済を創る

- ファッション産業の振興 (4億600万円)
- 雇用環境の充実 (1億2,700万円)
- 神戸のブランド力を高める観光誘客・周遊促進 (1億4,500万円)
- 神戸未来医療構想の推進 (7億940万円)



6 未来に輝く神戸の街を創る

- 新たなバスターミナルの整備 (26億8,317万円)
- 新・神戸文化ホールの整備 (38億4,050万円)
- 本庁舎2号館の再整備 (36億5,000万円)
- ウォーターフロント地区の再開発 (37億9,110万円)
- 都心・三宮の再整備 (178億4,301万円)

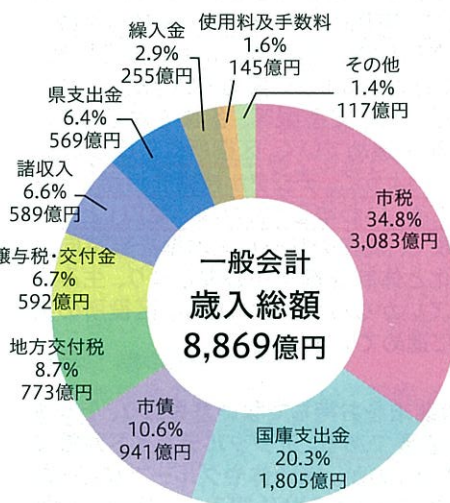


7 DXの活用による市民参加を進める

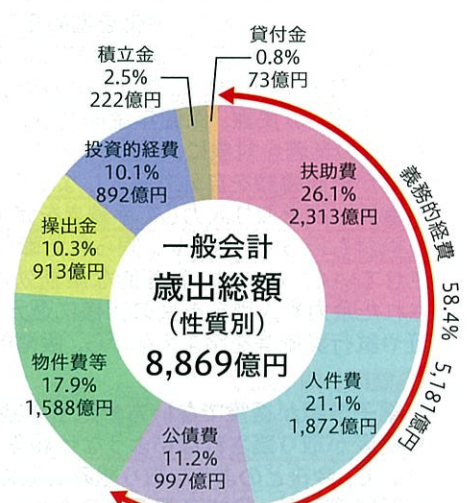
- 行政手続きのスマート化 (1億6,979万円)
- 行政施設の機能強化 (24億9,979万円)
- マイナンバーカードの普及・利活用促進 (15億6,123万円)

予算提案額の概要〈予算の規模〉

	令和4年度	令和3年度	増△減	伸率(%)
一般会計	8,869億円	8,704億円	165億円	1.9
特別会計	6,605億円	6,535億円	70億円	1.1
企業会計	3,330億円	3,292億円	38億円	1.2
合計	18,804億円	18,531億円	273億円	1.5



一般会計歳入予算の概要

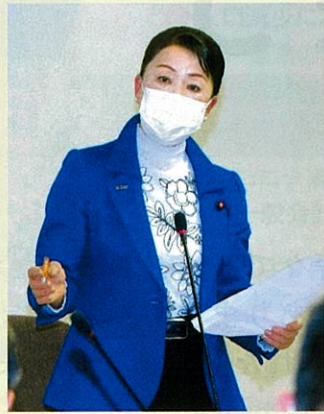


一般会計歳出予算(性質別)の概要

1 王子公園再整備方針における民意の反映について

【質問】 植中雅子

王子公園の再整備に関するパブリックコメントについては、否定的な意見が殺到し、5,000件を超える意見が届いたことは真摯に受け止めるべきである。パブリックコメントで初めて市民から素案への意見をお聞きするのではなく、パブリックコメントを実施する前に、再整備方針の市民への十分な説明が必要であった。遑れれば、素案を作成する前にも、市民からの意見を聞くことが大事だったのではないかと。今後再整備方針の見直しを行う過程で、市民への積極的なアプローチを意識し、対話を重視した見直しを行うべきで、今後どう進めようと考えているか。



【答弁】 若松企画調整局担当局長

パブリックコメントにおいて、市民の声を聞かずに基本方針(素案)の策定がなされているという意見があったことも事実である。説明不足の点については真摯に受け止めている。今後一定の案の見直しを図っていくが、市民との対話を重視していくということも、繰り返し答弁させていただいている。パブリックコメントに対する市の考え方をまずきっちり説明させていただき、その次のステップとして、対話を重視しながら進めていきたい。

【要望】 植中雅子

大学ありきで議論が進められてきた結果、パブリックコメントで賛否が分かれたということであるが、本会議で市長の若年人口の流入や経済効果等の話から、一応の理解はしている。ただ、その大学を誘致するために、他の施設を老朽化を理由になくしてしまうのは反対である。

神戸には北京オリンピックで銅メダルを取った坂本花織選手がいるが、ポートアイランドのスケートリンクは、夏はプールになるため冬しか使えず、他都市へ練習に行くと聞く。今あるプールを廃止するのであれば、屋内プールという形で少しグレードアップし、市の未利用地、あるいはその近辺で利用できるような土地で、プールを造って欲しい。スケート場は1年中使えるようにすれば、素晴らしい選手も育ち、次のオリンピックを目指してもらえる。神戸市として文化やスポーツの発展を要望する。

2 未利用市有地の活用について

【質問】 植中雅子

市内では現在どの程度の利用可能な未利用地があるのかを精査して、プロジェクトの検討を進めるべきかと考えるのがいかがか。

【答弁】 山田企画調整局副局長

大規模未利用地を含めた市所有の未利用地の活用は、とても重要である。全庁的に未利用地の情報共有を図っており、周辺の土地利用であるとか、敷地の規模、形状、施工に係るコストを多角的に検討を行い、未利用地が活用できるかどうかを見極めていくことになる。関係部局と連携しながら、引き続き用地の有効活用の検討を進めていきたい。

3 スマート区役所の展開について

【質問】 植中雅子

市民の利便性向上と職員配置の最適化を目的とするスマート区役所の展開だが、どのように市民の利便性が向上するのか。今後、限られた人員の中で、現在のサービス水準を維持・向上していくとのことだが、スマート区役所の取り組みによって職員の業務効率化、組織体制の最適化に加え、結果的に生まれた余力・人員をいつまでにどのような形で市民に還元していくのか。

【答弁】 筒井企画調整局担当局長

神戸市スマート申請システム、e-KOBEの活用によって、2025年度までに申請件数ベースで70%、約164万件を電子申請が可能にすることを目標に取り組みを進めている。スマート化を進めることで、市民の方が来庁しなくても手続きが完結し、また来庁した際にも窓口の滞在時間を短縮でき、市民の負担軽減・利便性向上が図られる。順次わかりやすく周知するように努めていきたい。区役所の各課、市民課、保健年金医療課、子ども家庭支援課等、各課で対応している全ての業務を対象に、検証と検討という形で進めていく。区役所に来庁しても、市民が申請書類を自分で記入しなくてもいいように、デジタル技術を活用し、窓口職員が聞き取り入力して手続きを完了する、いわゆる「書かない窓口」といった検討も行っていきたい。限られた職員数で、現在のサービス水準を維持向上させていくためには、徹底的な業務効率化と体制最適化が必要となり、生み出された余力や人員を市民の皆様に還元していかなければならない。区役所の実証や試行実施等を踏まえながら、段階的に進めていきたい。

【再質問】 植中雅子

電子申請が得意でない方や電子申請の端末をお持ちでない方もおり、デジタル弱者が取り残されないような仕組みが必要である。デジタルデバインド対策について、今後どのような取り組みを進めていくのか。諸団体やグループなどへの出張講座など、参加者相互でスキルアップできるような仕組みや、高齢者で外出が困難な方々への支援も検討が必要かと考えるのがいかがか。

【答弁】 森企画調整局デジタル戦略部長

令和4年度は、希望する全てのふれあいのまちづくり協議会等を含め、全市で200回ぐらいのスマホ教室を開催する。ご自身のスマホを使い、相談形式による教室もあわせて開催していきたい。すでに市営住宅の集会所等で、ソフトバンク社によるスマホ教室を開催している。また、実際の行政手続きのスマート手続きをサポートする仕組みとして、「スマート出張所」というものを実験的に学園都市に設置し、オンライン申請が難しい方に対して、実際にお手伝いをするサービスを考えている。「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を国全体で目指しており、神戸市も当然それにならって、身近な場所で支援を受けられる環境を構築する。特に外出が非常に困難な方に対しては、その支援をされる方もわざわざ区役所に行かなくてもいい環境を構築し、手続きのスマート化を進めていきたい。

4 里山・農村エリアへの移住・定住施策の推進について

【質問】 植中雅子

移住・定住施策の再構築においては、人口減少等が高い地域への人口誘導という考え方が、人口減少が顕著なのは、市街化調整区域、いわゆる里山農村エリアであることは明白だ。このエリアに移住者を呼び込むためには、里山農村エリアでの建築等に関する規制緩和が不可欠と考える。里山農村エリアへの移住・定住施策を、強力に展開するべきと考えるのがいかがか。

【答弁】 辻企画調整局長

ご指摘の通り、神戸が持つポテンシャルでもある農村里山への移住促進は、大変重要な政策だ。支援策として、里山農村エリアの活性化に向けた総合的な施策を進めている。地域と移住者をつなぐ、農村定住促進コーディネーターの設置、空き家バンクの運営、空き家の改修補助などを現在行っている。令和元年度から、神戸版地域おこし協力隊というものを導入し、クラウドファンディングを活用した農村ツーリズムやサイクリング、また大学生と地域との交流などを精力的に行ってきた。来年度は、地域おこし隊(事業者による採用だけではなく、市の直接雇用による採用)として隊員を増員し、里山農村地域の振興事業を行う神戸農政公社に活動拠点を置く。また今年度から、民間事業者と連携し、主に東京からお試し移住というような形で就労体験を実施している。さらに来年度は、人口減少・高齢化が進む西北部の6区の賃貸住宅に転入する若年世帯を対象に、子育て応援賃貸住宅住み替え補助という制度を創設し、さらなる移住・定住の促進に取り組んでいきたい。これまでも規制緩和に取り組んできたが、使いやすくなった制度の周知、空き家の有効活用等、基準の見直しの検討を進めていきたい。農村里山移住を検討する方々に、具体的に物件のマッチングやアプローチのプロモーションを進めることで、さらなる移住・定住の促進を図っていきたい。

【再質問】 植中雅子

農業以外で田舎に住まれても、市街化調整区域では、ほぼ沿道サービスしかできないという規制があり、生計が立てられない。経済観光局では、規制緩和について考えておられることはあるのか。

【答弁】 辻企画調整局長

今年の2月に第5弾として、移住希望者および里づくり協議会の負担を軽減するため、農村定住起業計画の策定を不要とした。今後こういった形で規制緩和を進めるに当たっては、経済観光局と連携しながら進めていきたい。

5 地域コミュニティ施策の推進について

【質問】 植中雅子

ふれあいのまちづくり協議会の地域活動に取り組まれている方々の高齢化が進んでおり、また、新たな担い手の発掘も進んでいない状況である。来年度予算では、NPO法人が取り組む地域活動への支援を進めることとしているが、ふれあいのまちづくり協議会活動が持続可能なものとなるよう、いわゆる有償ボランティア制度を導入すべきと考えるのがいかがか。



【答弁】 辻企画調整局長

委員ご指摘の有償ボランティア制度は、非常に担い手不足を解消するにも一つの方策であると考えている。まず、来年度については、ふれあいのまちづくり協議会の活動は、非常に地域特性も多く、一律の対応が難しい中で、地域活動にいろんな主体に参画していただける仕組みを作ろうと考えている。有償ボランティアの話も含めて、来年度は今後の地域福祉センターのあり方について、検討委員会を立ち上げる予定である。

要望 介護テクノロジー導入の促進事業について

介護現場における重労働の緩和に向けて、介護ロボット等の導入を促進するための相談窓口の開設は効果的で、現実に介護施設で介護ロボットを活用する取り組みが始まるなど、介護現場でのニーズは確実に高まっている。介護人材の不足や離職を防ぐための環境改善のためにロボットは必要であるが、それをマッチングして施設と企業とを繋ぐのが企画調整局の役目である。期待しているので、よろしくお願ひします。

1 谷上駅周辺のまちづくりについて

【質問】 植中雅子

谷上駅は、北神急行の市営化により、北区の玄関口としての役割が飛躍的に向上している。駅前再整備にとどまらず、駅周辺エリアを含めた谷上地域全体のまちづくりをプロデュースしてほしい。谷上駅には様々な機能の集積を図ることが望まれるが、現状はそのためのスペースがない。例えば民間駐車場、民間の私有地など、活用できるスペースをさらに確保する必要がある。進捗状況はどのようにしているか。



【答弁】 鈴木局長

法人あるいは個人の土地をいかに活用して、高度利用を進めるかという問題である。駐車場機能を残しながら、例えばその上部を有効に活用する方法も考えられる。地権者と今、意見交換を進めているが、直ちにやろうという状況にはなっていない。民間ディベロッパーの参画も必要で、民間事業者へのサウンディングも実施している。北神急行を市営化したからには、谷上駅の活性化については必ず取り組むべきテーマで、粘り強く取り組んでいく。

【要望】 植中雅子

地域から、郵便局や出張所を駅前に「是非!」という要望もあり、また婦人市政懇でもこの地域への避難所、児童館を要望してきた。駅前の様々な機能が集積されることによって、駅前のにぎわいに繋がる。利用面積の拡大への、さらなるお願いを要するので、今後粘り強く地域の皆さんへのサウンディング調査をし、ご理解を得ていただけるようお願いする。

【再質問】 植中雅子

谷上駅北側の上谷上地区の市街化区域には、生産緑地とそれ以外の土地が混在し、今年が30年経過した生産緑地の見直しの時期になっていることから、都市局で意向確認をされている。当エリアの地権者のアンケートを実施した結果、上谷上地域は、道路が大変狭く、緊急車両が通れない。「広い道路の確保」について、ほとんどの方が全面的に区画整理すべきという回答だった。2つ目に「農地をお持ちの方にお伺い致します」という質問に対して、農地を売却したいという方がほとんどで、将来も農業を続けたいという方2人は、自分たちの食べる野菜を作りたいという程度の農業である。上の山の農地は、震災後植物を育てる水源がなくなり、農業はできないという回答をいただいた。3つ目の「開発」については、住宅地ができれば人口が増えたいという方がほとんどだった。「農地を含む地域の荒廃」「農地の後継者がいないための不安」「空き地や耕作していない農地が増えて獣害がひどい」等々を悩んでおられます。要は、農業をしたから生産緑地にしているわけではないことをわかっていただきたい。現状のままでは農業をすることも、処分することも困難な土地であり、大きな課題となっている。神戸市で新たに道路を整備する必要があるが、このエリアを開発すると、自然を感じながら子育てができ、交通の利便性の高い素晴らしい谷上北町としてのベッドタウンになると考えている。

【答弁】 鈴木局長

地域の方々が自然環境を生かしたまちづくりということで、我々にとってもそういう考え方は非常に重要な方向性であると認識している。地元の方々と神戸市でディスカッションをしながら、まちづくりの専門家コンサルタントの派遣制度もあるので、まちの将来像について十分議論をすることが、まずは一番必要なことと考えている。その上で具体的な絵を描いていくというような手順で、神戸市も支援していきたい。

【要望】 植中雅子

谷上地区は、市街化区域と生産緑地を分けながら、二者択一でどちらかしか選べない。市街化区域を選んだ方は、この30年間にわたって高い固定資産税をずっと納めながら、今日まで何の利用もできないという状況は、ぜひお分かりいただきたい。

2 鈴蘭台駅前の整備後のアフターフォローについて

【質問】 植中雅子

鈴蘭台駅前では、令和2年10月末に再開発事業が完了し、現在、土地区画整理事業により、鈴蘭台幹線の整備が進められている。リニューアルされて新しく生まれ変わったが、一方で車の通行に関する課題や歩行者動線のあり方など、住民から苦情や要望を受けることが多い。整備完了後の不具合や改善要望の声に対して、どのように聞く機会を設け、どのように対応されるのか、アフターフォローにも取り組む姿勢が必要と考えるがいかがか。

【答弁】 手塚担当局長

「駅前広場への一般車の入り口がわかりにくい」「駅前広場の植栽も大きくなって、車両からの視線が遮られ危険である」「歩行者が大回りをさせられ不便になり、乱横断する歩行者が多く危険である」という声を聞いている。再開発ビル管理組合や、都市局と交通事業者で構成する駅前交通広場協議会の場で対応を協議している。駅前広場への入り口がわかりにくいことに関しては、進入路を示す看板を設置し、大きくなっていった植栽についても剪定を行った。歩行者の経路の見直しについては、警察、交通事業者と協議を進めている。駅前広場内の乱横断は、夏ごろまでに整備を進めるべく調整を行う。施設を整備して終わりではなく、今後は駅前を管理し、活用する関係者とともに駅前の利用を考え、使い勝手を良くしていく管理活用協定などの検討もしていきたい。

3 花山駅のバリアフリー改善について

【質問】 植中雅子

神戸電鉄の花山駅は、福祉局の事業で、駅構内のスロープが設置されると聞いている。ただ、駐輪場側から駅舎に上る階段が急な傾斜になっており、高齢者等にとっては大きな課題がある。階段を使わない場合は、道路を大きく迂回しないと駅舎に行けないため、エスカレーターやエレベーターの設置について、引き続き検討が必要と考えるがいかがか。

【答弁】 白井交通担当部長

エレベーターについては、駅鉄道利用者のための施設となるので、設置については神戸電鉄の判断となる。引き続き地域や利用者の声をお聞きしながら、利便性向上に向けてどのような取り組みができるのか、神戸電鉄とともに検討していく。

【要望】 植中雅子

神戸電鉄が整備する場合でも、神戸市が支援をするという体制をとっていただきたいと心から願います。

4 神鉄シーパスインの手続き変更に伴うマイナンバーカードの促進について

【質問】 植中雅子

新たに販売する神鉄シーパスインの北神により、わざわざ谷上駅で降りて改札を通過することが不要となり、利便性向上に繋がることについては高く評価している。令和4年度より、経費削減のため引換券はがきの郵送を廃止し、マイナンバーカードの提示による販売方法が基本となるが、神鉄シーパスインの対象者に対して、マイナンバーカード取得を促進する取り組みが必要と考えるがいかがか。

【答弁】 白井交通担当部長

マイナンバーカードの取得には約2ヶ月程度の期間がかかるという聞いており、神鉄シーパスインの販売開始までに、できるだけ多くの方にマイナンバーカードを取得いただけるよう、これからも広報を行っていく。昨年5月、今年度の神鉄シーパスインの販売開始時から、販売窓口や神鉄各駅にポスターを掲出し、来年度からはマイナンバーカードの提示による販売が基本となるため、マイナンバーカードを取得していただくようお願いをしてきた。また、神鉄の車内吊りや神戸市のホームページなどでもお知らせをしている。令和2年度・3年度の購入実績者や新70歳および市外転入者に対しても、販売方法の変更を個別にお知らせし、マイナンバーカードを取得するための申請方法や活用方法を記載したチラシを同封する予定である。引き続き企画調整局とよく連携し、シーパスインの対象者に対して、マイナンバーカード取得の啓発を行っていく。

【要望】 植中雅子

利用者の多い北区や西区の地域団体といった様々な諸団体への呼びかけが必要になる。紙媒体の周知も必要ではないか。いろんな団体にご理解いただくための出前説明をお願いしたい。

5 西神戸ゴルフ場の転活用による新たな産業用地の供給について

【質問】 植中雅子

新年度予算では、内陸部における産業用地のストックが残りわずかとなる中で、西神戸ゴルフ場を転活用して新たな産業用地の供給を進めていく方針となっている。市が事業を進めていく上で、民意を反映し、市民が納得してもらえる形で進めるためには、形式的なパブリックコメントを行うのではなく、事業の検討段階から丁寧に意見を聞くべきと考えるがいかがか。



【答弁】 鈴木局長

パブリックコメントについては、昨年5月18日から6月16日まで実施し、整備の内容やゴルフ場、産業政策、周辺環境等に関するご意見を36通いただいた。ゴルフ場をご利用いただいている方々にも、アンケートを昨年8月30日から9月24日まで実施し、551通の回答をいただいた。西神戸ゴルフ場が、市内のシニア世代の多数の方にご利用いただき、健康維持や運動の場だけでなく、憩いや交流の場として大きな役割を果たしていることが、アンケートからわかっており、存続を希望する声も多く頂戴している。クリーンエネルギーを活用した産業団地にすべきというご意見もいただいております。西神戸ゴルフ場の周辺には多数民間のゴルフ場もあるので、将来的な集客がどのような形になっていくかは非常に見通しにくい。西神戸において公的団体が市有地を活用し、ゴルフ場を運営していることについては、今は好評を博しているが、この先中長期的に考えたときに、いろいろ議論もあり、見直すべきではないかという結論に至っている。

【意見】 植中雅子

産業用地の必要性について理解はしているが、今好調で赤字でもないゴルフ場をわざわざ潰さなくても、以前から未利用の市有地をもっと精査した上で決めるべきではないか。神戸はゴルフ発祥の地で、六甲山の神戸ゴルフ倶楽部は、1901年にイギリス人のアーサー・ヘスケス・グルームさんが作られた。神戸市はゴルフ場を持っていてもおかしいことはない。北神戸ゴルフ場は残るといふことであれば、矛盾があるかと思う。

予算特別委員会

総括質疑



令和4年3月14日(月)午前10時から、自由民主党神戸市会議員団を代表して、65分間にわたり、市長、副市長へ以下の質疑をさせていただきました。

- ① 王子公園の再整備について
- ② 谷上地域の活性化について
- ③ 市街化調整区域のあり方について
- ④ 人口減少における住み替え支援について
- ⑤ 神戸空港の国際化について
- ⑥ 義務教育過程における学力の習得について
- ⑦ スポーツ施設の充実について

要望 コロナ禍で厳しい運営状況にある公営企業会計に一般会計からの支援強化をお願いしたい。



老朽化により再整備が予定されているポートアイランドのスポーツセンターは、夏はプール、冬はスケートリンクとして運営されています。北京オリンピックで銅メダルを獲得された神戸市出身の坂本花織選手は、尼崎など市外で練習をされているとのこと。神戸市に通年利用できるスケートリンクがないのは大変残念であります。再整備のこの機会にと要望しましたが、利用期間を増やすというご答弁でありました。利用者の意見を幅広くお聞きし、柔軟な対応をお願いしたいと願うものです。

市長答弁

② 谷上地域の活性化について

地権者や地域住民の方々が、上谷上地区として将来どのようなまちを目指すのか、地区のあり方を話し合っていたことが重要である。まずは地域に専門家の派遣制度等の紹介や活用の働きかけを行い、市も参加をさせていただくなど、より積極的に取り組んでいきたい。

③ 市街化調整区域のあり方について

5回にわたり開発許可の基準を緩和してきた。乱開発を守りながら移住定住の受け皿を作ること、農業振興と地域作りを組み合わせながらしっかりと住みよい地域作りをしていく。空き家や空き倉庫の有効活用を進めるために、リモートワークへの対応や、農村集落の活性化、利便性の向上を目指し、周辺的生活環境と調和を確認しながら、現在できない種類の施設の立地を可能とする規制

緩和を検討している。合わせて現在は施設運営者の要件を居住者、または移住予定者に限定しているが、ここに住まなくても、外から通っていただくような方も対象とできるように検討し、来年度のできるだけ早い時期の実施を目指している。市街地等に隣接する地域や豊かな自然環境が広がる地域など、地域ごとの異なるニーズに応じた柔軟な制度運用も必要と認識している。

三宮の周遊性向上！

令和4年2月2日(水)午後4時から、新たな2種のモビリティ(移動手段)の実証実験が行われ、河南議員、白国議員と共に参加しました。



ゲキダンイノ社製の
新型モビリティ
三井住友銀行本店営業部前にて



テムザック社製の
低速小型モビリティ
三宮中央通りにて

いずれも簡単に手軽に利用することができます。安全性の担保が今後の課題と考えますが、童心にかえて十分に楽しんでいただけそうです。車中心から歩行者優先都市へと転換を図ろうとしている神戸市の周遊性に大きく貢献できると思います。

更生保護法人 神戸学而園 湊川寮の視察

令和4年2月8日(火)午後1時から、各区の議員保護司の皆さんと共に、更生保護法人神戸学而園 湊川寮の視察を行いました。

神戸市による施設前面の市道拡張工事に伴い、隣地に新築移転された湊川寮は、収容定員は以前より3名増えて20名となりました。国から約7,000万円、兵庫県と神戸市から各200万円ずつの補助金と、支援団体の寄付や自己資金で新築された施設は、バリアフリー・24時間換気・全個室・談話室完備の3階建てです。この神戸市唯一の男性ばかりの更生保護施設が社会復帰への大きな役割を果たしていただけるものと期待をしています。



各種友好団体との予算要望懇談会

令和4年3月10日(木)、午前10時から午後4時まで、第4委員会室と議員団会議室の2部屋に分かれて、自民党神戸市会議員団と神戸商工会議所を始めとする16団体との意見交換をさせていただきました。何れの団体も、長引くコロナ禍の中で、大変な苦勞をされています。3月24日(木)にも14団体と意見交換を行いました。ご要望に応えるべく議員団一同でしっかりと対応させていただきます。



畑の辻緑道せせらぎについて

北区日の峰地区にあるせせらぎの止まった「畑の辻緑道」復旧工事は、一度は予算がつきながらも、具体的な



工事の調整がつかず、中止に至っていました。地元の合意形成の取り組みが行われ、工事ルートに関する方々の同意も既に得ていることから、去る令和3年9月17日(金)の予算特別委員会で、建設局へ早期復旧の支援を再度要望させていただきました。その結果、令和4年度中に復旧工事が完成する見込みとなりました。具体的なスケジュール等々、詳しくは後日ご報告させていただきます。地域の皆さまの団結に、心より感謝いたします。



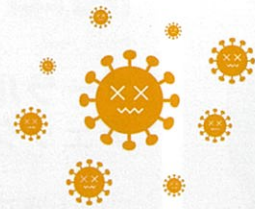
市政NEWS

自由民主党神戸市会議員団は令和4年度予算を承認しました

令和4年度当初予算案の7つの柱

1. コロナとのたたかいに打ち克つ

- ◆感染拡大防止
- ◆コロナ禍に直面する市民への支援
- ◆コロナ禍で増す不安に対する健康サポート
- ◆コロナ禍に直面する市内事業者への支援
- ◆医療提供体制の安定的確保



2. のびやかなくらしと環境を創る

- ◆神戸の街の再生◆空家空地対策の推進
- ◆里山・農村地域等の活性化と賑わいの創出
- ◆生物多様性の保全と再生◆六甲山・摩耶山等の活性化
- ◆カーボンニュートラルの推進
- ◆ブルーカーボン・グリーンカーボンの推進
- ◆芸術・文化の振興◆外国人が住みよい地域づくり
- ◆こうべ女性活躍プロジェクトの推進

3. 未来に輝く神戸の街を創る

- ◆都心・ウォーターフロントのにぎわい創出と回遊性向上
- ◆三宮周辺エリアの再整備◆駅周辺のリノベーション
- ◆ウォーターフロント地区の魅力向上◆市役所周辺エリアの再整備
- ◆ポートアイランド・六甲アイランドの活性化
- ◆陸海空の広域交通結節機能の強化

4. DXの活用による市民参加を進める

- ◆DXによる市民サービスの向上◆働き方改革の推進

5. 健康・安全を守る

- ◆健康づくりの推進・医療の充実◆介護・障害者施策の充実
- ◆くらしの安心・安全を守る◆災害に強い都市をつくる

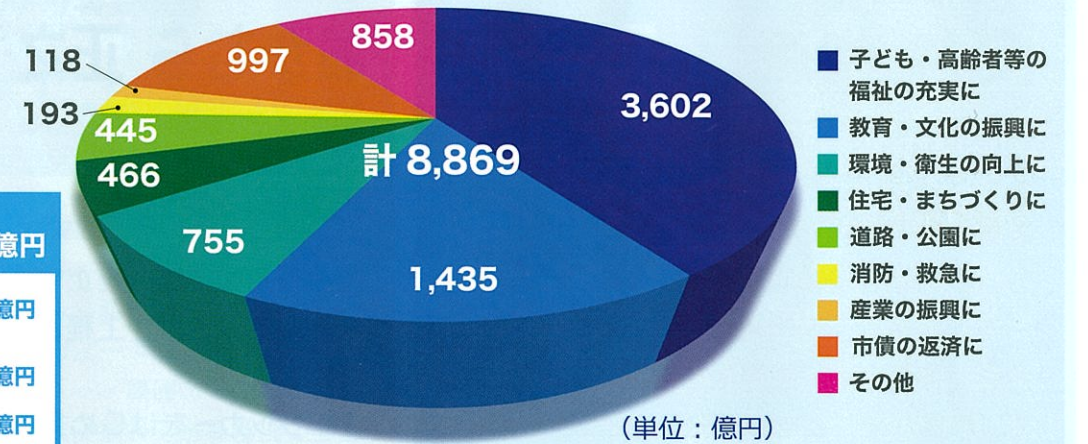
【令和4年度予算内訳】

令和4年度当初予算案のポイント



新型コロナウイルス感染症 対応予算(2月補正含む)	182億円
感染防止対策・医療 提供体制の安定的確保	163億円
市民への支援	4億円
市内事業者への支援	15億円

【一般会計】



▲中央市民病院の患者受入れ支援



▲自転車の利活用促進



▲ウォーターフロントのにぎわいづくり



▲「外部給電・神戸モデル」の推進

6. 温もりのある地域社会を創る

- ◆子育て世帯の経済的負担の軽減◆子育て環境の充実
- ◆保育環境の充実・保育人材の確保
- ◆学びの環境整備◆切れ目のない支援
- ◆孤独・孤立対策◆生活困窮者等に対する支援
- ◆高校生・大学生の支援◆市民生活・地域活動の支援

7. 力強い神戸経済を創る

- ◆市内産業の活性化◆雇用環境の充実◆観光振興
- ◆革新的な起業・創業支援◆神戸医療産業都市の推進

本会議における代表質疑の主な内容 2月24日

王子公園再整備について

大型プロジェクトで期待している一方で、説明や議論が不足しています。市民意見募集でいただいた意見に向き合い、ゾーニングや廃止施設などを見直し、改めて対話フォーラムやワークショップなどを開催する時間を作り、市民を巻き込み一緒になって再整備を進めていかなければなりません。『原田の森』という歴史を尊重して市民の声に耳を傾け、計画を見直ところは見直し、説明を尽くすところは尽くして進めるよう求めています。



吉田 健吾

救急車の出動課題について

(Q) コロナの拡大による救急搬送困難事案は、全国で過去最多を更新している。その中で、高齢者施設と民間病院間で民間救急車の運用をしようとする動きが市内にある。救急需要にも大いに寄与するものと考えますが、神戸市として積極的な支援を行うべきと考えるが、(A) 地域包括ケアシステムの充実や救急需要対策につながる可能性がある。内容を踏まえ必要な対応を検討してまいりたい。



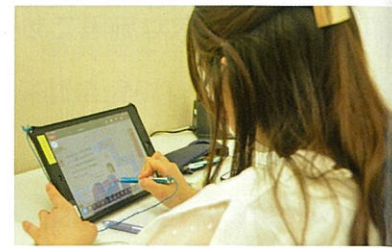
しらくに 高太郎

県市協調の市街地再開発事業について

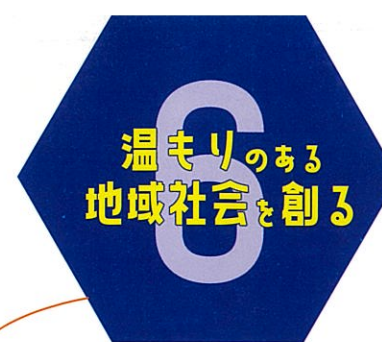
齋藤知事の就任後、市街地再開発事業に対する県費による補助を廃止する旨の内容が公表された。知事に廃止撤回を働きかけ、本年1月に公表された修正案では、補助のあり方について、検討する旨に修正された。県の玄関口である本市は今後も再開手法による再整備を検討している地区を複数抱えており積極的な投資は県の発展にもつながる。市からも県に補助金の継続を積極的に働きかけていくべきだ。



かわなみ 河南ただかず



▲ICTを活用した学習支援



▲神戸で「灘の酒」を飲もう！キャンペーン

切れ目のない子育て支援



～出産	新生児	幼児期	小・中・高・大
妊婦に対する支援 助産師による訪問支援 オンラインによる両親学級	医療的ケア児の受入れ施設拡大	(仮称)特別支援教育 相談センター設置	ひとり親家庭 高校生 定期券補助
妊娠健康診査費用助成	産婦健康診査費用助成	乳幼児健康検査	35人 学級編制 高校生等の 通学定期券補助
多子世帯の保育料・副食費・一時保育利用料・予防接種助成	多子世帯の保育料・副食費・一時保育利用料・予防接種助成	義務教育学校設置	高校生の 通学定期券 補助
妊婦向けPCR検査の実施	保育定員の拡大	こどもの居場所の全市展開	産学官 共創の推進
こべっこウェルカム プレゼント	こども遊び場拠点の整備 (こべっこランド・おやこふらっとひろば・こべっこあそびひろば)	学童保育での 学習支援	中学生等への 学びの環境整備
子育て応援賃貸住宅住み替え補助	子育て応援賃貸住宅住み替え補助	GIGAスクール構想に対応したICT環境整備	KOBE学生 地域貢献 スクラム
児童虐待防止対策強化		こどもケアラーへの支援	
子育て応援サイトのリニューアル			
新規施策： 拡充施策： 従来施策： 			

神戸市会、ウクライナに緊急支援金拠出



メリケンパークの「BE KOBE」モニュメントを同国の国旗のカラーにライトアップ

ロシアによるウクライナ侵攻に対し、神戸市会では去る3月1日に「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決、同時に神戸市と神戸市会の連名で、緊急支援金としてユニセフに1,000万円を拠出しました。しかし未だ戦火は止むことなく、多くのウクライナ国民の生命が脅かされている状況に鑑み、神戸市会からも災害等見舞金基金より100万円を、また市会決議に賛同する市民の方からの申し出による60万円を同時にユニセフに拠出いたしました。

文書通信交通滞在費及び立法事務費に関する制度の見直しを求める意見書を提出します

令和3年10月31日投開票の衆議院議員総選挙当選者に対し、1日しかない任期に1カ月分の文書費と立法事務費が支給されたことについて国民から不満の声が上がっています。神戸市会では自民党議員団が主導し改革を進め、現在では政務活動費の使途や扱いについて市民に対し説明責任を果たすため徹底した情報公開を行っています。私たちは国に対し、使途の透明性と公正性を担保し納税者が納得できるよう制度の見直しに早急に取り組むよう強く要望する意見書を提出します。



安井 俊彦

神戸市と東灘区を音楽と文化とスポーツ、そして子育ての発信基地へ

コロナ対策とそれ以後の神戸市の経済は、港湾機能の

発展と神戸空港の国際化を目標年次を設定して、市民が一体となり頑張ること。

音楽と文化スポーツでは六甲アイランド活性化の為に政策の重点をおく。例えば、日展の開催等、またダンジリ文化を守り育てる東灘区を文教の町として子育ての地域とします。



▲3/9 文化スポーツ局 予算質疑

うへはた のりひろ

給食の地産地消と中国産排除へ！

神戸の未来を担う子供達の健やかな成長と安心安全の為、地産

地消の推進と引き続きの中国産食材の完全ゼロを求めて質疑を実施！令和元年までは給食に中国産食材



▲3/4 教育委員会 予算質疑

かわなみ 河南 ただかず

不登校の児童生徒への対応について

長期欠席の具体例として、保護者の教育に関する考え

方、登校についての無理解、家庭や保護者の考え方が不登校に結びついている事例が多いのではないか？学校が勉強する場だけでなく、社会性を身につける場であることなど、登校することの意義を保護者に発信することも必要だ。魅力ある学校の一つが、先生の魅力。人間力だ。全国平均より不登校児童生徒の割合が、神戸市は高いことを今一度認識して改善に繋げてほしい。



▲3/4 教育委員会 予算質疑

おかむら 正之

磯上公園の再整備について

磯上公園球技場を廃止するとの条例改正案が上程されています。

少年サッカーをはじめ多くの子供たちに、幅広い時間帯でスポーツ活動のできる貴重な拠点です。都心に存在する数少ない球技のできる磯上公園を残すよう尽力いたします。



▲3/7 建設局予算質疑

もりや たかし 守屋 隆司

市民の生命 財政を守る 取組への積極的対応を

予特港湾局審査にて①兵庫運河

西側への波除け防潮堤の整備 地域を守る取組について②水上オートバイ航行規制と共にマリンスポーツを楽しめるエリアの整備について



▲3/2 港湾局予算質疑

安達 和彦

市会本会議でロシア非難決議採択

ロシアによるウクライナへの攻撃や明らかな主権侵害

に対し、厳重に抗議の意を表するとともに我が国政府に対し、関係各国や国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を求める決意を表明する決議が全会一致で採択されました。私は提案議員を代表して、決議案の提案理由説明をさせて頂きました。



▲3/1 本会議

むらの誠一

中学校体育館の地域開放が実現！

昨年の一般質問で「小中学校体育館の地域開放を促進

すべき！」と質問させて頂きました。小学校体育館は、週3日の開放制限が撤廃されました。

中学校体育館については、事前にネットで予約が出来るように、現在、私の母校である高倉中学校で先行実施し実証実験を行っております。引き続き、今後の全校実施に向けて取り組んで参ります！



▲12/7 一般質問

坊池 正

西区の都市計画道路等の整備について

先に計画決定された都市計画道路及び地域内主要幹線

道路を整備途上道路ごとに着実に整備完了めざし、スピード感を持って弾力に力を入れること。



▲12/7 一般質問

しらくに 高太郎

コロナから命と健康を守るために

この2年間、本会議や常任委員会などを通じて新型コロナ

対応についてあらゆる観点から質疑や要望をして参りました。特に、施設でのクラスターや在宅療養の充実は大きな課題でした。2月21日の常任委員会では、陽性者を医療に繋げる必要性やCT値、24日の本会議では宿泊療養施設の充実について質疑や要望を行いました。平穏な日常を取り戻すために、関係者の皆様と共に今後も収束に向け全力で取り組んで参ります。



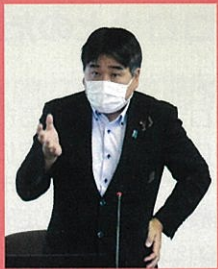
▲2/24 本会議

おかだ 岡田 ゆうじ

オーラルフレイルチェック事業化

コロナ禍で引き続き外出の自粛・ステイホームが求められる

ている。その中で、要介護に至る一歩手前の「フレイル」状態の高齢者が増えている。早期発見・対応が必要だが、口腔内の検査でフレイル度をチェックする「オーラルフレイルチェック」は、通常の2倍の精度で要介護や死に至るケースを発見できる。高齢者のオーラルフレイルチェック事業を創設すべきだ。<⇒令和3年度内の事業化決定>



▲9/10 健康局決算質疑

坊 やすなが

市会議長として諸問題に対応

昨年6月に第103代市会議長に就任致しました。

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ発生する諸問題解決の為に直撃に取り組みながらも、時代に



▲議長室にて

中国産食材を完全に使っていない旨を明言し、安全安心の確保を今後行うと答弁！今後も食育や『食の安全保障』の観点からも神戸産を最優先に次に兵庫県産、国産を利用し、地産地消の推進に取り組むよう要請しました。

大野 陽平

市バス営業所の有効活用について



▲3/4 交通局予算質疑

Q: 交通局の厳しい経営状況を考えると保有資産を有効活用することが重要です。石屋川など市内に7カ所ある市バス営業所に民間活力を活用して、例えば建物を高層化し、上の階を他の施設として賃貸するなど大胆な発想を含めて検討するべきでは？
A: 遊休資産の活用はある程度進みましたが、ご指摘のバスの営業所を始めとした現在使用中の資産に関しても、今後は色々アイデアを絞って資産活用に挑戦したい。

吉田 健吾

六甲山・摩耶山の活性化について



▲3/9 文化スポーツ局予算質疑

六甲山と摩耶山は、明確なすみ分けをして、対比をさせながら活性化策を実施していくべきです。摩耶山においては来年度予算で自然の家リニューアルに向けた再整備策定費用が計上されています。再整備にあたっては、レジャーやクリエイティブワークの六甲山に対して、地元の裏山として親しまれている「自然を楽しむ」「自然から学ぶ」摩耶山として、学びや交流のための拠点を整備し、自然を愛する子どもから専門家までが集う工夫を。

神戸港、大阪港が連携している現状を踏まえ、突然表明された関西港の位置づけについての神戸の見解について⑤ハーバーハイウェイへのETC導入の促進について⑥南海トラフ巨大地震、津波対策における防潮堤等の整備進捗状況について。以上質疑いたしました。

ひらの たつじ 平野 達司

子育てしやすい街 神戸・兵庫区へ



▲3/4 教育委員会予算質疑

- ・ブルーカーボン含めた兵庫運河での環境体験学習の兵庫区内小学校への展開へ
- ・学校での内科健診時の上半身脱衣について薄手の肌着を来たままの状態、生徒の心情に配慮した対応への前進
- ・ママフレのリニューアルをスマートこうべと連携しプッシュ型情報提供への推進
- ・兵庫区内の子育てサークル活動費用支援の実現など子育て教育充実のため取り組んでいます

平井 真千子

地下鉄長田駅前活性化や地場産業の応援を提案



▲3/7 建設局予算質疑

予算特別委員会では健康局、環境局、建設局、福祉局の審査で登壇。コロナから市民の命を守ると同時に感染拡大防止策の犠牲になりがち高齢者や子供への配慮の必要性や、路上喫煙の防止や生物多様性保全、そしていよいよ設計・工事へと進む地下鉄長田駅前の公共空間整備などについて質疑。また4年度予算、3年度2月補正予算では地場産業応援クーポン事業など、これまで提案してきた「神戸らしいファッション文化を振興する条例」の実行のための施策が多く計上されています。

西区内道路整備は安心、安全なまちづくり整備には必要不可欠な施策である。

山口 由美

難聴児支援の充実



▲2/28 行財政局予算質疑

神戸市が今年1月から難聴児支援の中核機能を中央市民病院の総合聴覚センターに委託して、難聴児やそのご家族をサポートする新たな取り組みを始めましたが、その準備に関わってきました。難聴児とそのご家族が自信を持って生きていけるように、難聴児に関わる支援者や教員等に最新の専門知識を持って関わっていただけるように、サポート体制を整えていきます。

山下 てんせい

子どもの居場所づくりを地域で考えよう



▲12/22 教育子ども委員会

学童保育において、学校園と児童館の併用については大いに進める価値がある。それと同時に地域のマンパワー活用をしっかりと考えていただきたい。特に送迎支援等の施策に、地域の青パト組織やボランティア、児童館OBやOGの協力も仰ぐべきです。

合った神戸市会実現に向け議会改革を進めております。

北 区 ごとう 五島 だいすけ

交通の充実について

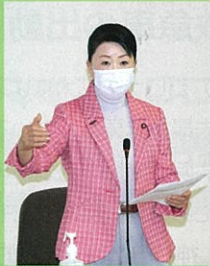


▲3/8 都市局予算質疑

新神戸トンネルのポートアイランド直結や高校生の通学定期券割引予算を獲得、道路の渋滞対策や利便性確保・公共交通の充実、敬老パスの神戸電鉄への適用を。また、事業用地や住環境の整備のために、市街化調整区域の見直しや都市計画の抜本的な見直しを本会議や委員会等で質疑要望し、規制緩和などを実現。市内移動の利便性確保や企業立地施策・子育て施策の充実により経済活性化・人口減少対策に尽力致します。

うえなか 雅子

神鉄沿線の活性化について



▲3/8 都市局予算質疑

北神急行の市営化や神戸電鉄株式会社との連携協定締結を契機とする神鉄沿線各駅の再整備について以下の質疑をいたしました。
①北区の玄関口となる谷上駅は、駅前広場の再整備のみではなく、全体の街づくりが必要！
②花山駅は、駐輪場や駅構内のスロープ以外にもエスカレーター等の整備を！
③リニューアル後の鈴蘭台駅ロータリー等の利便性向上の為のアフターフォローを！

私たちは感染拡大の防止対策と市民生活の安全・経済の再生に全力で取り組んでいます！



自由民主党神戸市会議員団
Liberal Democratic Party of KOBE
TEL.078-322-5846
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号
http://www.jimin-kobe.com



新型コロナに関するお問い合わせは
神戸市相談窓口（24時間受付・多言語対応可）
新型コロナウィルス専用相談窓口 078-322-6250

ワクチン接種に関するお問い合わせは
新型コロナワクチン接種コールセンター 078-277-3320
受付時間：平日（月～金）8:30～20:00 休日（土日祝）8:30～17:30

令和4年度予算案を承認いたしました。

自由民主党神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計52議案について、以下の理由により要望21件を付して承認しました。

理由 令和4年度予算案は、コロナ後を見据えた神戸の持続的発展を目指し、コロナによる社会の変革およびコロナ前から神戸市が抱えていた課題を精査し、これからの神戸が進むべき指針を示したものとなっています。またその柱としてテーマが体系的にまとめられ、従来の費目別ではなく行政課題に沿ったものとなっている点も評価します。

長引く新型コロナウイルスへの対応については、引き続き市民の命と健康を第一に捉え、全庁一丸となってあらゆる策を講じ、緊急で必要な補正予算案や関連議案等は早急に上程され、一日も早い終息と日常の回復を図られたいと思います。

また、これまでの行財政改革により、財政健全化指標は着実に改善しているものの、将来世代に負担を残さないためにも「神戸市行財政改革2025」の完遂に向けて全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築していくことを期待し、令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。 [抜粋]

下記(その他合計21項目)の要望を付して承認しました

- 代表電話や総合コールセンターなど、市民が市政にアクセスする最初の窓口であるオペレーターや対応職員の一部により、市民に寄り添わない対応が行われている実態を早急に改善すること。
- 地域コミュニティ施策の推進については、持続可能な運営のために有償ボランティア制度を導入すること。
- 王子公園再整備については、市民意見を踏まえ、素案が市民理解を得られるものにする。
- フィギュアスケートをはじめ、オリンピックなど、国際大会で活躍するアスリートが地元神戸で練習時間を充分とれるよう環境整備に配慮すること。
- 高齢者施設等の入所者のコロナ陽性者を速やかに医療につなげるよう努めること。
- 人口減少対策については、子育て支援に注力し、特に区役所の現場と連携して、有効な子育て支援を実施すること。
- ママフレリニューアルについては、区役所とも連携し、子育て世帯に民間情報を含めて充実した情報配信ができるよう対応すること。
- 児童虐待の相談件数が毎年10%ずつ増加している。「神戸市子どもを虐待から守る条例」を尊重し、重ねて努力すること。
- コロナ禍における学校行事については、子供の成長に必要な経験であることから、中止や自粛ではなく、実施を前提として立案すること。
- 義務教育課程の基礎学力の修得については、修得状況に差があることから、必要な指導が完了したとみなされてから卒業させるようにすること。

令和4年度神戸市の予算 海と山が育むグローバル貢献都市の実現

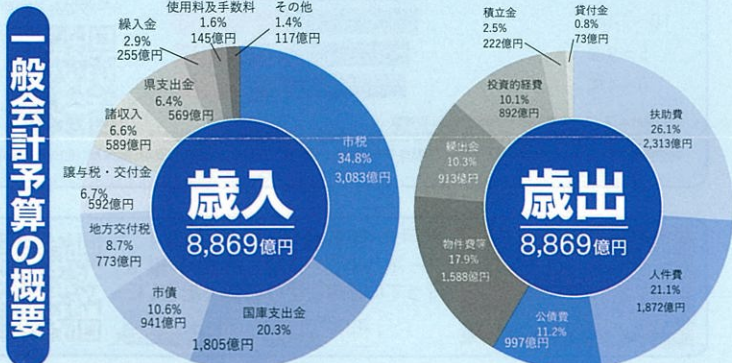
予算総額: 1兆8,804億円 前年比: +273億円

●一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。

●特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。

●企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)
主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。

一般会計の支出を市民一人あたりにすると **58万円**になります



みんなのバス絶賛運行中!!

■みんなのバスとは?
兵庫区に本社を置く(株)神戸マツダさんによる社会貢献の一環として、令和2年12月より運行の実証実験が開始された、兵庫区の南北をつなぐバスです。病院や駅、区役所、図書館、商店街などへの移動に便利なみんなのバスを、ぜひご利用ください。



新型コロナワクチン接種

神戸市 KOBET 新型コロナワクチン接種

事前予約はホームページからが便利です。お電話でも予約可能です
▶078-277-3320 (平日:08:30~20:00 土日祝:08:30~17:30)

●新型コロナウイルス専用健康相談窓口
078-322-6250(24時間受付 多言語対応)

●新型コロナウイルスの感染を心配されている方
●予防・感染症に対する相談のある方
●感染者と接触があった方

神戸市政報告

関西広域連合議会議員
神戸市議員
兵庫区 守屋隆司

まじめに働く方が、正しく報われる社会。
編集・発行: 自由民主党神戸市議員団兵庫区第2支部 千650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846

予算特別委員会において局別審査を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。

令和4年度神戸市予算「くらしの質」を重視した施策を強化

新型コロナ第6波が減少傾向となり、1月27日から兵庫県内全域で続いた「まん延防止等重点措置」がようやく解除されました。しかしながら、三回目ワクチンの接種など、感染予防の徹底をはからなければならないことに変わりはありません。引き続き万全を期して、コロナ禍とその後を見据えた施策に全力で取り組んでまいります。

さて、令和4年第1回定例会市会が開催され、市民にとって関心の高い「王子公園再整備問題」など令和4年度神戸市予算案についてしっかりと議論してまいりました。ぜひご一読ください。
神戸市議員 守屋隆司

関西広域連合議会本会議 一般質問に登壇

●広域観光の推進について ●域内の特産農水産物の学校給食への提供の更なる促進について質問しました。

●関西広域連合の構成団体 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

満場一致でロシアのウクライナ侵略に抗議

神戸市会臨時本会議が開会され、「ロシアのウクライナ侵略に対し厳重に抗議の意を表する決議」が満場一致で採択されました。

神戸市及び神戸市会の連名で緊急支援金としてユニセフを通じ、ウクライナへ1,000万円を拠出。さらに神戸市会から100万円を追加拠出しました。

王子動物園が無くなる?それはデマです。現状規模を維持し存続します!! 王子公園再整備に関する神戸市の見解

自由民主党神戸市議員団からの質問	議会で示された神戸市の見解
市民の意見を受け、その対応は?	2022.02.24 本会議 市民意見への見解と修正案を出す、まだ対応中である。
素案、ゾーニングの見直しはされるのか?	2022.02.24 本会議 駐車場の位置も含め一定の見直しをする必要がある。再検討していきたい。
廃止される施設、残すことや代替機能についての見解は?	2022.02.24 本会議 遊園地については、公園内に子どもたちが遊べる場所は必要と考える。
大学誘致をするとどのような効果があるのか?	2022.02.24 本会議 見込まれる効果 ①若年人口をさらに流入定着。②優秀な人材の確保、育成、輩出をする場として文教エリアのポテンシャルの引き上げ。③地域商業などへの高い経済効果、にぎわいを創出。④大学の地域活動への貢献。
須磨海浜水族園は民間に、王子動物園は神戸市が直営するのはどんな考え方で判断しているのか?	2022.02.24 本会議 全国的に水族園は民間で運営されている状況をふまえ、魅力を増し集客を図るため民設民営。動物園は社会教育施設として神戸市が責任をもって運営する。
入園料金も低廉なものにすべき。	2022.02.24 本会議 利用しやすい料金につとめる。
市民への情報発信と対話をどうするのか?	2022.03.01 予算特別委員会 ホームページを活用し情報発信していく。まずはパブリックコメントに対する市の考え方を説明し、その次のステップとして対話を重視しながら進めていきたい。
どんな大学が来るか分からないのに進めるのはいかがなものか?	2022.03.01 予算特別委員会 大学の意向調査をすることも可能だが、ゾーニングや面積が固まらないと大学側も意向が示すことができない。まずはゾーニングである。素案を固めたい。
阪神淡路大震災の教訓を活かして災害時対応拠点としての機能は?	2022.03.09 予算特別委員会 王子公園の広域防災拠点等としての位置づけはそのまま。
王子スポーツセンター(体育館)再整備の検討はされたのか?	2022.03.09 予算特別委員会 市内の体育館の中では、まだ使用していける部類なのでそのまま使用する方針となった。

3月29日(火)本会議で一般質問「原田高騰で影響を受けた中小零細業者への支援」などについて守屋隆司が質問します。インターネットでご覧ください。 生中継/録画

質疑・答弁要旨

令和4年度予算特別委員会 局別審査

自由民主党神戸市会議員団
守屋隆司



港湾局 令和4年3月2日

1. 兵庫運河について

■質問: 守屋隆司

日本最大級の水域面積を誇る兵庫運河であるが、毎年台風になると多くのごみが流れ込むとともに、満潮が重なると海から大きな波が打ち寄せ、一部の護岸に係留している船舶や係留設備などにも大きな被害が発生したケースもある。そこで、運河の入り口に波除けのようなものを設置して被害が軽減できるような工夫ができないか。水質も向上し、環境学習の場にも活用されている兵庫運河を守り続けていくためにも是非検討していただきたいと考えるが、どうか。

■答弁: 長谷川港湾局長

船舶が入ってくる影響をどういう形で配慮するのか。それと、今は湾岸道路西伸部の事業、あそこで海上工事が今後行われる予定になっています。そういった海上工事の影響なども十分加味しながらの検討になるかと思えます。国に支援いただく必要がありますので、連携しながらどういった波浪対策ができるのか検討してまいります。

2. 水上オートバイ等の航行禁止区域の設定について

■質問: 守屋隆司

昨年9月に淡路島で発生した事故を契機に、兵庫県内で水上オートバイ等の危険性について議論が行われてきた。神戸市としても、いち早く危険性や騒音対策等の面から、須磨海岸と兵庫運河の一部に航行禁止区域を設定し、海岸や運河を利用する人々の安全・安心を守ろうとすることは理解できる。一方で、マリレジャーとしてルールを守りながら楽しみたい人がいることも事実である。

そこで、条例改正による航行禁止については遵守させる一方で、一定の航行可能区域を設けて、安全に楽しめるエリアを設置することを検討してはどうか。見解を伺いたい。

■答弁: 松村港湾局副局長

条例改正の趣旨は、須磨海岸や兵庫運河の利用者の安全の確保、また騒音対策や水上バイク利用者の事故防止の観点からも、航行禁止区域を設定するというものです。

一定の航行可能区域を設けることにつきましては、マリレジャーとして安全に楽しむことができるエリアというふうに考えております。そのため、現状の神戸港では難しいものと考えており、神戸港外を含むより広いエリアでの検討ができないか、研究を行っていきたい。

3. 神戸空港との就航路線について

■質問: 守屋隆司

平成30年4月からの関西エアポートによる関空・伊丹との空港一体運用、またその後の発着枠の拡大と運用時間の延長などもあり、神戸空港の利便性は一層向上している。就航都市も13都市に増え、ビジネスや観光、文化など幅広い分野で活発な交流が広がることを期待している。

就航路線開設の決定は、空港運営者である関西エアポート神戸(株)と航空会社の間で行われるものと思うが、就航路線の更なる増加を実現すべく、神戸市としても何らかの関与ができるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

神戸空港は全国13都市と直接結ばれ、地方管理空港の中ではトップです。今後も就航先の自治体であったり、各エアラインと連携をしながら、各路線を育てていくことで次なる新たな路線の実現につながるものと考えております。しっかりと取り組んでまいります。

4. 「関西港」としての港湾管理の一元化について

■質問: 守屋隆司

神戸港は、大阪港とともに阪神国際港湾株式会社を立ち上げ、集貨・創貨・競争力強化を軸とした国際コンテナ戦略港湾施策を、国とも一体となって進めているところである。しかし、昨年12月に行われた兵庫県と大阪府の「兵庫・大阪連携会議」の場で、吉村知事から、大阪港湾局と神戸市、兵庫県が管理している大阪湾内の各港湾を一元化し、「関西港」として統合してはどうかとの提案がなされたとのことである。今後、2025年の大阪・関西万博の開催に向けて、大阪湾全体として協力していく必要性はあると思うが、この突然出された港湾管理一元化の提案に対し、神戸市としてどのような見解なのか伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

突然の話でございまして、私自身も驚き、困惑したというのが現状です。港湾の在り方については、神戸港は神戸市が港湾管理者として責任を持って運用しています。今後もその責任を全うしていくというスタンスです。

今年に入ってから大阪港湾局から申し出があり、オンラインでの意見交換を行った。2025の万博を見据えた形での海上交通、防災、環境、カーボンニュートラルなど大阪湾の活性化につながるような連携を進めることができないかという提案でした。こういった面であれば、今後も話し合いはできるのかなというところではあります。

5. ハーバーハイウェイにおけるETC導入について

■質問: 守屋隆司

ハーバーハイウェイは、六甲アイランド、三宮、ポートアイランドを最短で結び、阪神高速5号湾岸線にも連絡する、神戸港の円滑な物流を支える港湾幹線道路であるとともに、多くの市民も日常的に利用する大変便利な道路であるが、平日の昼間などには料金所付近で渋滞が発生している。ETCを導入し、渋滞解消と更なる利便性向上を目指すとのことであったが、現在の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

■答弁: 松村港湾局副局長

ハーバーハイウェイは港湾物流車両を円滑に処理し、既成市街地の交通負荷軽減を目的に整備されました港湾幹線道路であるとともに、一般市民の方にも広く利用されている道路です。

夜間工事を中心に、慎重に工事を進める必要があるほか、新型コロナウイルスの影響によりまして、半導体や土木資材など一部の工所用資材の確保に時間を要する可能性があり、ETC工事の完了は令和5年の秋頃を予定しております。神戸港や市民の方々のさらなる利便性向上に向け、安全面に注意しながら、着実に工事を進めてまいります。

6. 津波対策について

■質問: 守屋隆司

将来、発生すれば甚大な被害をもたらすであろう、南海トラフ巨大地震に伴う津波に対し、防潮堤の補強等に取り組んでいるとのことだが、現在までの進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

■答弁: 長谷川港湾局長

千年に1回のいわゆるレベル2への対応については、現在、97%でございますので、令和4年度には完了する予定で進めていく。

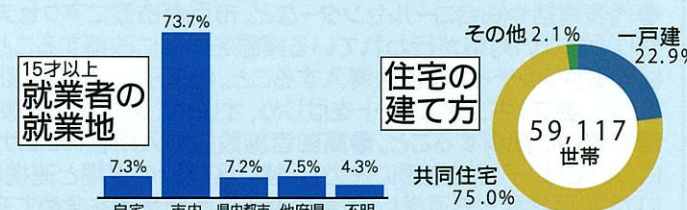
また、防潮堤の遠隔操作化を進めており、全部で78基のうち、令和3年度で43基、55%終了いたします。令和6年度の完成を目指して努力したいと思います。

神戸市
南海トラフ巨大地震
津波想定と津波への備え

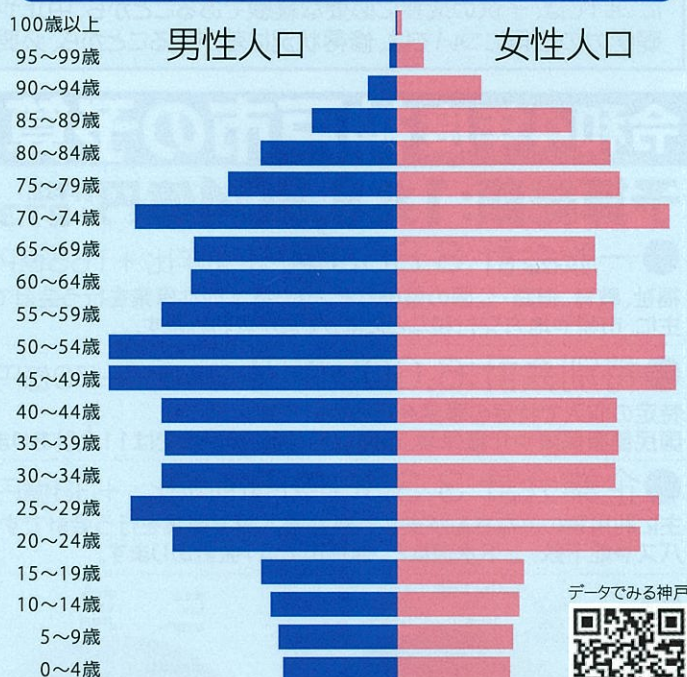


兵庫区の統計

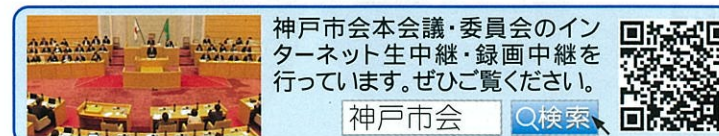
■人口	108,827人
■世帯数	61,770世帯
■65歳以上割合	28.2%
■15~64歳割合	62.2%
■15歳未満割合	9.6%
■単独世帯割合	56.6%
■持ち家割合	39.9%



兵庫区の人口ピラミッド



毎月推計人口(2022年2月1日時点): 人口 世帯数
住民基本台帳(2022年1月末時点): 15歳未満割合 15~64歳割合 65歳以上割合 人口ピラミッド
国勢調査(2020年10月1日時点): 単身世帯割合 持ち家割合 住宅の建て方 15歳以上の就業者の就業地(2015年10月1日時点)



自由民主党神戸市会議員団 神戸市会議員兵庫区 守屋隆司

まじめに働く方が、正しく報われる社会。

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会(常任委員会・特別委員会)も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所(4席分)も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

手続

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。※マスク着用。発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。